

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年10月8日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年10月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【5号機床ドレン収集ポンプの軸封パッキンの増し締め量減少について】 当直員が、5号機床ドレン収集ポンプを起動したところ、グランドからの漏えい量調整のため、軸封パッキン押さえボルトの増し締めを行い、グランド受けに収まる程度まで減少させたが、ボルトの増し締め量に余裕がないことを確認。 当該ポンプの機能には影響なし。 今後、当該パッキンを交換予定。	GⅢ	10月4日
2	【進入路バリケード管理業務における右足首負傷について】 協力企業作業員が、休憩所から退出する際、ハードマット(金属製泥落とし)の端を右足で踏み、バランスを崩し右足首を捻った。 痛みがそれ程なかったことから、そのまま進入路バリケード管理業務を継続した。 帰宅後に右足の痛みと腫れが出てきたことから病院を受診、右足関節部捻挫と診断された。 当該ハードマットについては、撤去済み。	GⅢ	10月6日